

月刊特撰女學唱歌
鈴蘭樂譜
 全國高等女学校用

第十六編 梅の巻

春日のめぐみ

大童球溪作歌
 S. Bortniansky

二部合唱練習曲

大正十五年二月号

春日の恵 大童球溪作歌

1
 見渡す野邊には若草しげり、
 瘠せたる森にも木の芽を萌ゆる、
 霜雪解かしていと暖かに、
 萬物生かすか春日の恵。

2
 山もと静に春雨けぶり、
 野山も田畑も程よくしめる、
 なやみし草木なほいと柔らかに、
 いたづき癒やすか春日の恵。

大正十五年二月五日印刷
 成樂會編

大特選樂譜

〔一ヶ月一集會費廿五錢、團体十五錢〕

▲第二編 〇濱邊の歌(獨唱) 〇山ざくら(獨唱)

〇御國を守れ(ビシヨッフ作曲・三部大合唱)

▲第四・四三編 〇春の小川(二部合唱) 〇若草(子供の歌)

〇春の夕(獨唱) 〇池の鯉(子供の二部) 〇太平洋(少年歌)

〇四月號(一四三編) 〇花の春(幼年) 〇若葉(少年)

〇郊外遠足(二部合唱) 〇日本海の大海賊(子供の二部合唱)

少年少女樂譜

〔一ヶ月一集會費十五錢、團体十錢〕

▲第三編 〇雛の宿(少女獨唱用)

▲第三編 〇落花 〇雨の糸 此編のみ會費十錢、團体七錢

▲第三編 〇四月一日發行目下選曲中

鈴蘭樂譜

一ヶ月會費一種八錢宛、團体一種五錢
 松竹梅三種にて二十四錢、團体十五錢

▲第一編 〇松の巻 吹けよ春風(三部)

〇竹の巻 春野の小徑(齊唱) 〇梅の巻 春日のめぐみ(齊唱)

新教材

〔一ヶ月一集會費十錢、團体五錢〕

▲第五集 〇かこのうぐいす(低學年) 〇春が来た(二部)

〇だるま(中學年向獨唱) 〇風船玉(低學年)

▲第六集 〇卒業式の歌(卒業生在校生獨唱) 〇ヒヨコ(幼年)

〇村のお房(幼年) 〇富士山(子供と先生との三部合唱)

〇山が火を吐く(高學年男兒二部合唱)

〇なでしこ 〔年五冊發行、一冊三十錢、團体二十錢〕
 ▲第六集 〇風船玉(低學年) 〇仲よし(中學年)
 〇日向ぼっこ(中學年) 〇なすのよ(高學年) 〇三才女(二部)

春の音樂會用合唱曲大物

▲四季(二部合唱) 西歐名曲(一、三) ▲御國の眺め(三部合唱)

西歐名曲(一、三) ▲春こそ来れ(二部合唱) 西歐名曲(一、三)

▲友はいつに(二部合唱) 西歐名曲(一、三) ▲B A B a 三部

合唱) 西歐名曲(一、三)

ピアノ獨奏名曲

〇晚鐘(五〇) 〇オクターローの激戦(五〇) 〇憶ひ出(二〇)

〇君が代(シツクスヴァリエーション) 一、〇〇) 〇風の曲(六〇)

〇銀波(オーガン獨奏曲、四〇)

樂典要所 (送共、三) 新制音樂理論抜粹

大正十五年二月五日印刷 【非賣品】
 大正十五年二月十日發行

各學年共 半ヶ月分 四十錢宛
 學生團体前納 一人分 廿五錢宛

編輯兼 原田彦四郎
 印刷所 樂譜印刷研究所

發行所 成樂會
 有代表者 大橋利康

發行所 成樂會
 福岡市大學通り二丁目

發行所 成樂會
 靜岡市東鷹匠町五二

發行所 成樂會
 振替名古屋一〇二四八番

發行所 成樂會
 東京市外田端三四六

發行所 成樂會
 東京市東區三軒

發行所 成樂會
 事務所 中井博士邸内原田

發行所 成樂會
 團體特別扱一度乞御照會

春日のめぐみ

溫和に

犬童球溪作歌
S. Bortniansky (1752-1825)

ミヤ ロサ タシ スと ノし べつ ニか ハに アは カる かせ サめ シげ ゲぶ リリ

ヤの セや タま ルも モた リは ニた もも コほ メよ シく モし ユめ ルる

シな モや ユカ キー トく カさ シき テな イい トと アや ター たら カか ニに

モい ノた ミつ ナき イい カや スす カか ハは ルる ビび のの めめ ぐみ

二部合唱練習曲

Andante

pp

p

cre scen do *f*